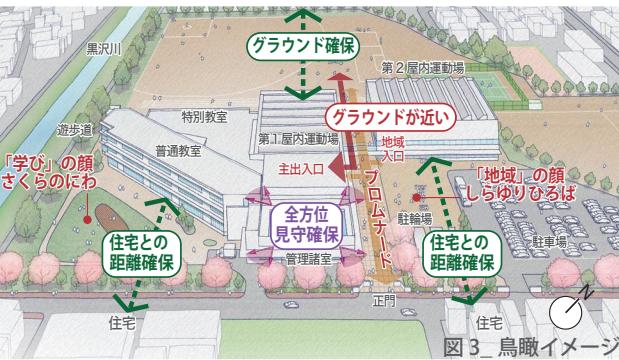


～地域の未来を創る人づくり～新しい教育や地域の将来を見据えたモデル校として、学校と地域の協働と共創の場となる学び舎を実現

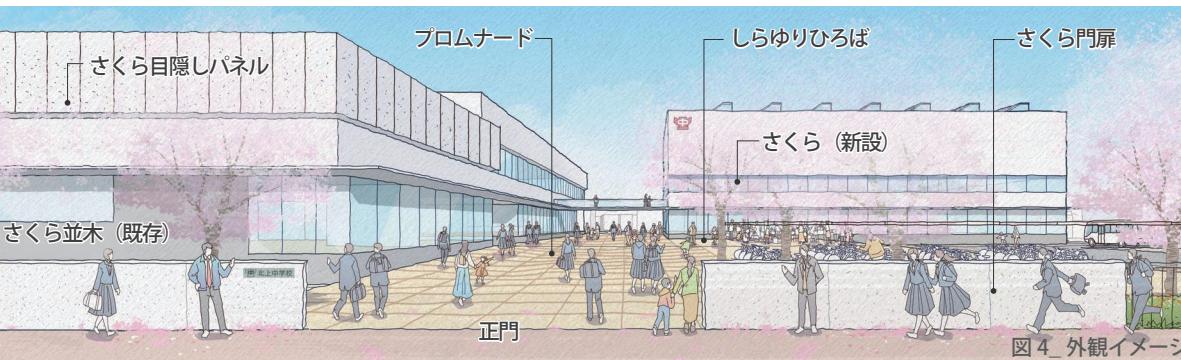
「ヒト」と「ヒト」との“つながりを活性化”する北上らしい学校づくり

・北上市は古くは南部藩最大の河港「黒沢尻川岸」を有し、奥州街道の宿場町としても栄えた地域であり、近年は工場誘致により新たな人や企業が進出している、多様な人々が交流することで発展してきたまちです。

豊かな環境を校舎に取り入れ、ひろばを中心としたまちに創出



プロムナードを中心とした正面性のあるアプローチ計画で生徒の安全を確保／体育館に囲まれたひろばや地域開放によりまちづくりの拠点となる学校づくり



周辺環境に配慮しグラウンドを確保した合理的な配置計画／メディアフォーラムを中心とした「新しいまなび」を展開できる学習空間／生徒の見守りや連携・協働しやすい管理諸室

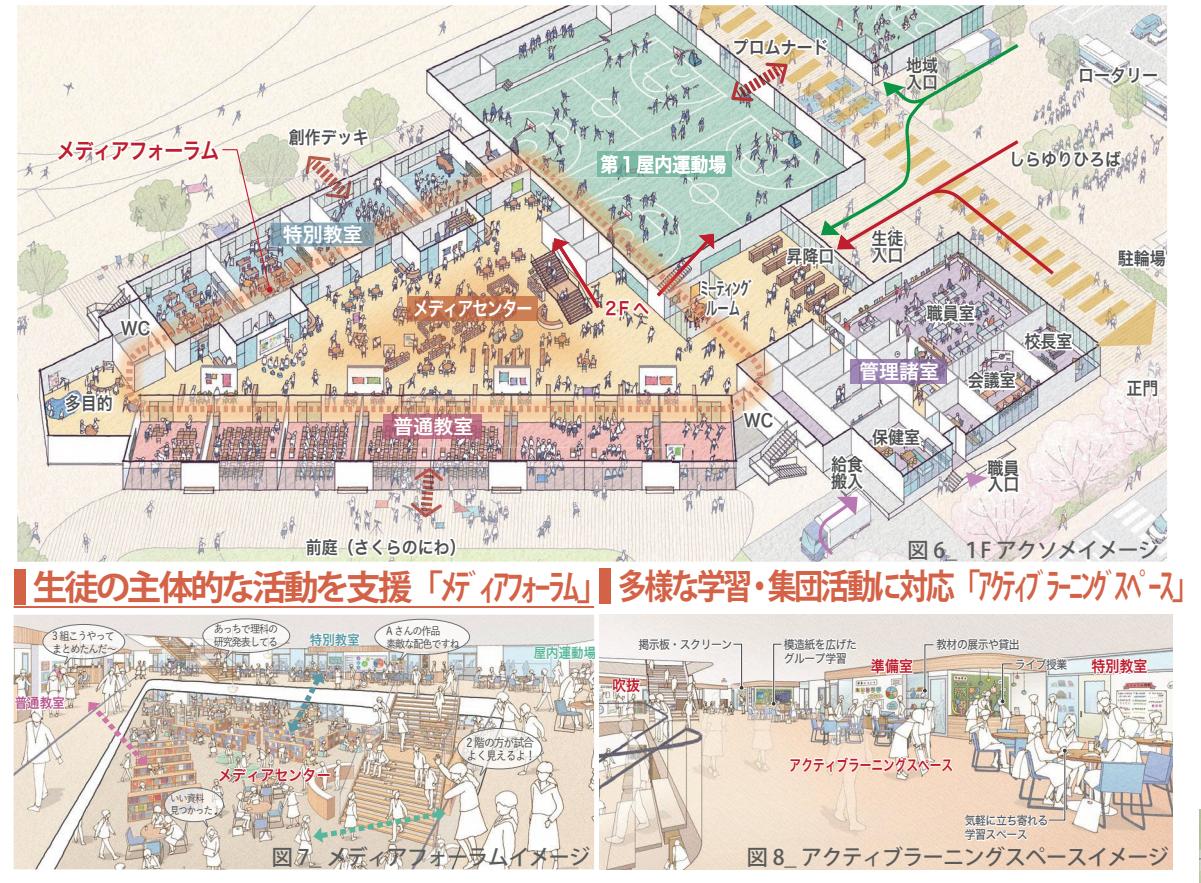


図7 メディアフォーラムイメージ

図8 アクティブラーニングスペースイメージ

2段階の浸水対策／北上の地域特性を分析・検証し、最適化したエコスクールを実現／あらゆる維持管理低減手法により LCC 削減

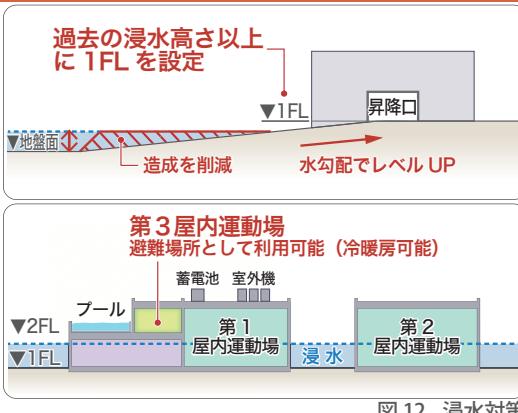
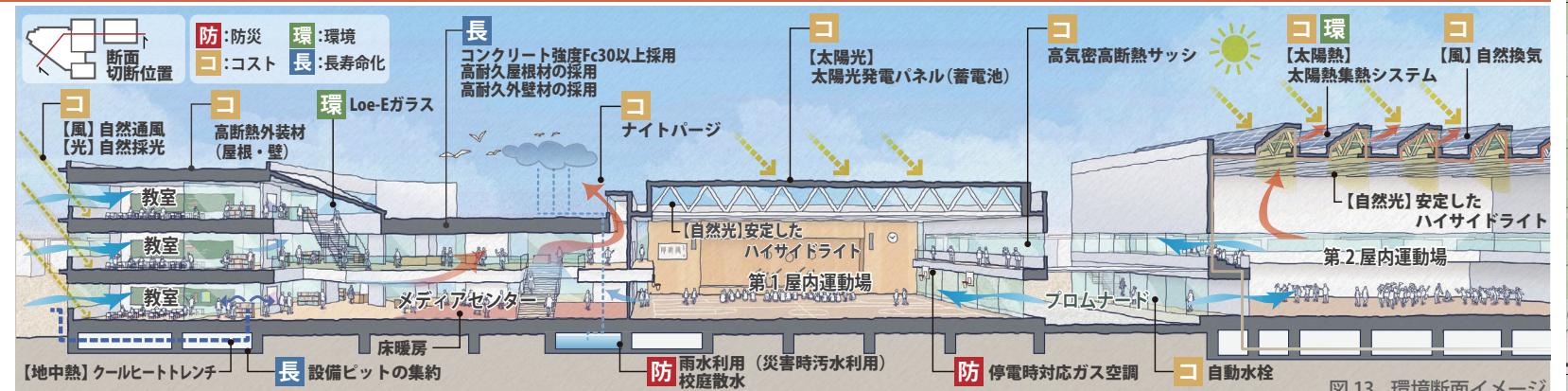


図12 浸水対策



本計画の4つの重要なポイント

1 気候の視点から →北上の気候風土に根ざした南向きの学校



2 まちの視点から →「学び」と「地域」の2つの顔を持つ学校

3 教育の視点から →多様な活動が展開できる学校

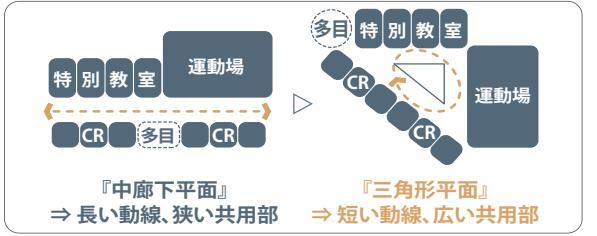


図9 普通教室活用イメージ

図10 しらゆりひろば

図11 平面イメージ

図12 浸水対策

図13 環境断面イメージ

4 地域交流の視点から →地域に開放し、交流する学校

